

KEY TOPIC

1000のオレンジの篝火に、決意と想いをくべる 中広グループ児童虐待防止運動

中広グループではハッピーメディア®を中心に、「児童虐待防止運動」を展開しています。これは、児童相談所虐待対応ダイヤル「189(いちはやく)」を周知するための記事掲載やポスター掲出などに取り組む活動です。この児童虐待防止運動の一環として、こども家庭庁が定める11月の「オレンジリボン・児童虐待防止推進キャンペーン」期間に合わせ、地域のシンボリック建物を児童虐待防止のイメージカラーであるオレンジ色にライトアップする「にっぽんオレンジシンボル運動」を昨年より実施しています。

189番の周知で 理不尽を許さない

2018年、当時5歳だった東京都目黒区の船戸結愛ちゃんが、両親による虐待で亡くなる事件が起こりました。彼女が遺したノートには「もうゆるして」という父母への謝罪とともに、「あしたはいっしょうけんめいやってパパとママにみせるぞ」と希望も綴られています。

この衝撃的な事件を受け、日本からこんな理不尽を追放しよう、そのためには児童相談所虐待対応ダイヤル189番を周知し、社会全体で子どもを持つ家庭を見守りながら児童虐待の抑止力となろうと決め、当社は「児童虐待防止運動」を開始しました。それでも、今年7月に愛知県犬山市で同様の事件が起きたように、いまだ凄惨な児童虐待は後を絶ちません。

PRの力と賛同者の連携で 社会の意識を変えていく

我々は広告のプロですが、法律の専門家ではないため、社会の仕組み自体をすぐに変えることは出来ません。しかし「189」という今ある仕組みを周知することで、社会の意識を変えていくことは出来ると信じています。

世の中から児童虐待という理不尽を無くしたい。この思いの実現には、人々の児童虐待防止への理解、そして行動が不可欠です。昨年の「にっぽんオレンジシンボル運動」では、中広の本社ビルはもちろんのこと、北は北海道のさっぽろテレビ塔から、東京都庁、国宝・彦根城、京都タワー、福岡タワー、そして南は沖縄アリーナと合計20都道府県116カ所の施設に賛同いただくことが叶いましたが、今年はより大きな輪にすべく1000カ所を目指して運動を推進する決意です。

「にっぽんオレンジシンボル運動」は全国各地の企業や自治体が一体となって地域のランドマークをオレンジ色に照らすことで、



オレンジ色にライトアップされた岐阜城

児童虐待のない社会の実現を目指すための取り組みであり、メッセージです。この篝火が地域と社会の隅々までを明るく照らせるよう、賛同いただける企業様、施設様は、ぜひ当社スタッフまでご連絡いただければ幸いです。

家族的なるもの 家族は民族の幸福と不運を決める

家父長制の崩壊 「なんとなく」家族

パリ五輪、いかがでしたか。無観客で行われた東京五輪から3年。コロナ禍を乗り越えようと大変だったことを思い起こしました。セーヌ川を船で入場行進、雨のエッフェル塔でのセリーヌ・ディオンの『愛の讃歌』。フランスらしい洒落た雰囲気があふれる開会式でした。

柔道や体操、バレーボール、バスケットと日本チームの活躍に、わたしたちは「ニッポン! ニッポン!」と声を枯らして応援します。

「過剰に自国を応援するのは、軍国主義に繋がる危ない思想」、なんて言う人は最近では滅多にいませんでしたが、国家の威信をかけた競争でもあり、メダル獲得合戦であることは否めません。

日本のナショナリズムの根源は、歴史を紐解くまでもなく「封建的な家父長制度」にあります。家父長制度は封建制を維持するには不可欠な要素です。国家、社会、地域、組織、家庭に、絶対者を置くことで封建的国家が成り立ってきました。しかし敗戦後、民法が改正され、家父長制は廃止。その反動で、国家そのものを否定する自虐思想に取り憑かれ、「民主主義」の名のもと米國に支配されました。

儒教的な家族観が崩壊し、個人主義は絶対的な思想体系となり、核家族化が進みました。家族と家庭の存在そのものの議論は封印され、「なんとなく」家族が存在する。摩訶不思議な家族観が定着していったのです。

家族とはなにか。その存在に感謝すべきであり、互いを認め合い、ともに幸せになっていく関係でありたいと、私は思っています。そして、家族という最小単位が機能してこそ、組織や地域社会、国家が円滑に動くのだと考えます。家族とは人類誕生以来の奇跡の積み重ね、大いなる自然からの贈り物なのです。

「家族や家庭は、民族の幸福と不運を決める源泉である」という言葉があります。国の未来も繁栄も、家族単位の在り方で決まるといって過言ではないようです。

にっぽんオレンジシンボル 運動、パワーアップ!

7月に発覚した悲しい家族の事件、ご存知の方も多いと思います。愛知県犬山市の小学1年生、島崎奈桜(7歳)さんが母親の内縁の夫に「殴り殺された」というおぞましい事件。なぜ、こんな児童虐待が起こるのか。想像す

るだけで胸が張り裂けそうになります。

暴行事件は2年前から起こっていて、異常を察知した児童相談所(児相)は5歳の奈桜さんを2度保護しました。「母親の元に帰りたい」と泣く幼子を、暴力を振るう母親とその内縁の夫のもとに返す判断、児相はどれだけ逡巡したでしょうか。児相の担当者を含め関係者は、内縁の夫とは絶対に会わせない。母親ともその男とも、誓約書を取ったと報じられています。その上で、親子の情を優先し保護を解除。母親の元に帰した翌日に、撲殺は起きました。耳を疑う出来事です。あなたはご存知ですか。

児相は現行法の中で精一杯の努力をしたと、私は思います。しかし、子どもを見殺しにした母親、小さくて弱い幼子への暴力を平気で行う内縁の夫に対しては、許せない思いでいっぱいになります。これ以上の「卑怯」があるでしょうか。とても人間とは思えない、鬼畜の仕業です。



189・オレンジリボン ピンバッジ

児童虐待による殺傷事件が起こるたびにメディアはセンセーショナルに報じ、政治も動いてきました。児童虐待防止法は何度も改正され、11月には国民的な取り組みをしています。

「虐待だと思ったら、189番(いちはやく)」。今では手元の携帯で通報すれば、最寄りの児相に繋がるようになりました。連絡を受けた児相は、24時間以内に警察と行政で、その家を訪問することで、かなりの案件を解決しているようです。

我が社が発行しているハッピーメディア®『地域みっちゃく生活情報誌®』は、昨年からこども家庭庁のオレンジリボン・児童虐待防止推進キャンペーンと連携して、日本各地のシンボリック建物をオレンジ色に染める「にっぽんオレンジシンボル運動」を始めました。その結果、東京都庁、さっぽろテレビ塔、岐阜城をはじめとした116ヶ所の施設がオレンジ色に染まりました。名古屋のテレビ塔がオレンジ色に染まっているのを見て、若いカップルが児童虐待について語り合う姿に希望を覚えたものです。

今年は日本全国1000ヶ所の施設をオレンジ色に染めるという目標を掲げ、「なんであの施設はオレンジ色なの?」と国民が興味を

持ち、189番を浸透させるために「にっぽんオレンジシンボル運動」を強化していきます。

中広グループ社員は、襟に「189・オレンジリボン」を付けています。「それ何?」と聞かれたときに、「虐待だと思ったら、189番に電話して欲しい。子どもを守ることになるから」と防止を徹底するためです。また、営業が訪問先で189番を認知してもらうポスターの掲示や、チラシの配布なども考えています。実にアナログな手法ですが、広告を生業とする我々だからできる活動です。地道に継続していきたいと思っています。

さらには、全国の自治体の教育委員会に対して、189番を火事なら119番、事件事故なら110番と同じように、教育現場で子どもたちに認知させる運動も進めています。児童虐待を無くし、家族や家庭の崩壊を止めるための礎を、『地域みっちゃく生活情報誌®』が築いていきたい。今年は日本全国津々浦々、オレンジに染めて189番を伝えていきたい、と決意を新たにしています。

苦楽をともにする 有難い縁を護って

我が社は「日本を元気にする」ためにハッピーメディア®『地域みっちゃく生活情報誌®』を発行しています。無料で一軒一軒家庭のポストに届けるフリーメディアです。8月末の発行部数は、北は北海道滝川市から南は沖縄県宮古島まで、33都道府県141誌1,156万部です。今の日本で1,000万以上の家庭に直接届くリアルメディアはありません。目標は日本全国5,000万世帯に配布することです。

私は、日本全国のハッピーメディア®『地域みっちゃく生活情報誌®』に関わっている仲間を同志と呼んでいます。我々は「毎月家庭に情報誌を届け、読者の幸せを願い、その地域を元気にする」、その志を持った同志です。

この地球上に人類は80億人生き、日本でも1億2千万人が生活しています。安岡正篤氏の言葉に「縁尋機妙・多逢聖因」があります。「縁尋機妙」は、良い縁がさらに良い縁を尋ねて発展してゆく様は誠に妙なるものがある。「多逢聖因」は、いい人に交わっていると良い結果に恵まれる、という趣旨です。同じ志を持った仲間には本当の家族ではありませんが、縁あって苦楽をともにする「家族的」なるものです。この奇跡のような有難い縁を、家族的なる存在を、何があっても護り、ともに生きていきたいと思っています。

TOPICS

『地域みっちゃく生活情報誌®』が愛知県・和歌山県・広島県で創刊!

フリモかわら

愛知県碧南市・高浜市
42,400部

休刊から約1年を経て、愛知県碧南市・高浜市で「フリモかわら」をリニューアル創刊。西三河地域ならびに碧海5市で空白となった当エリアを再びカバーしました。発行元は変わりましたが、地域で昔から営まれる企業様からの励ましの声や新たにオープンした店舗様とのご縁もいただきました。地域との繋がりを感じながら、使命を全うするために精進いたします。 林



まいとん

和歌山県橋本市・かつらぎ町
23,000部

和歌山県の旧伊都エリア橋本市と、現在も伊都郡であるかつらぎ町でこの度、和歌山県内直営2誌目となる「まいとん(my伊都)」を創刊しました。世界遺産高野山の麓に位置する橋本市は、大阪や奈良など都市部へのアクセスが良い反面、地元での消費が弱い傾向にあります。今後は「まいとん」を通じて地元の魅力を伝え、地域経済活性化に寄与します。 榎尾



はつカラ

広島県廿日市市
41,000部

ハッピーメディア®空白県だった広島県第一号となる「はつカラ」を廿日市市に創刊しました。姉妹誌誌面や成功事例を活用することで地元事業者様に掲載メリットの理解を促すとともに、「こういう媒体を待っていた」との期待の声に身の引き締まる思いです。「はつカラ」を皮切りに今後、広島県内の他市町でも発行を計画し、姉妹誌ネットワークを築いてまいります。 岡崎



11,567,400部

※情報は2024年8月発行号に基づき掲載しています。 ※VC発行エリアを含む。 ※世帯到達率は配布部数と8月26日現在の各県が公表している世帯数を割り算し、一部印刷エラーの発行に伴い9月に修正していないものを含む。 ※発行日は月により変動する可能性があります。詳細はお問い合わせください。

北海道 道内発行媒体数 6誌 道内総発行部数 928,540部

SORA vol.114 滝川市・砂川市・赤平市・歌志内市・新十津川町・赤井江町 41,500部 229日発行

秋田県 県内発行媒体数 1誌 県内総発行部数 141,100部

QKuRaShu vol.182 秋田市 141,100部 1日発行

宮城県 県内発行媒体数 5誌 県内総発行部数 577,820部

ささげ! vol.126 石巻市・東松島市 女川町 59,000部 20日発行

ARIFT vol.1740 仙台市東区・青葉区・若林区・太白区・宮城野区 富谷市・名取市・岩沼市 塩竈市・多賀城市・石巻市・東松島市・大和町・柴田町・七ヶ浜町・利府町 335,390部 第4または第5金曜日発行

山形県 県内発行媒体数 2誌 県内総発行部数 225,550部

あまろ vol.102 【東新おきたま版】米沢市・南陽市 高島町・川西町 60,000部 【西おきたま版】長井市・白鷹町 飯島町・小国町 22,000部 82,000部 20日発行

ARIFT vol.9 山形市・上山市・東村山郡 山辺町・村山市・天童市・東根市・尾花沢市・北村山郡 大石町・寒河江市・西村山郡 河北町・西川町・大江町・朝日町・中山町 143,550部 第4または第5金曜日発行

福島県 県内発行媒体数 2誌 県内総発行部数 86,300部

すかお vol.101 須賀川市・鎌石町・天栄村 玉川村・石川町・浪江町 矢野町・古瀬町・平田町 53,300部 25日発行

茨城県 県内発行媒体数 5誌 県内総発行部数 338,000部

ひたし vol.178 日立市 62,000部 25日発行

かにす vol.130 鹿嶋市 50,000部 25日発行

栃木県 県内発行媒体数 1誌 県内総発行部数 52,000部

おりっぷ vol.99 小山市 52,000部 25日発行

群馬県 県内発行媒体数 5誌 県内総発行部数 403,000部

太田フリモ vol.90 太田市 50,000部 25日発行

桐生みどりフリモ vol.82 桐生市・みどり市 50,000部 25日発行

伊勢崎フリモ vol.127 【北西版】前橋市・吉岡町 【北西版】前橋市 【南東版】前橋市 63,000部 25日発行

高崎フリモ vol.322 高崎市 120,000部 25日発行

埼玉県 県内発行媒体数 9誌 県内総発行部数 1,066,205部

ワッキーズ vol.114 久喜市 52,000部 第4日曜日発行

とねじ vol.114 羽生市・加須市 行田市 56,400部 第4日曜日発行

ARIFT vol.648 所沢市・入間市・狭山市・嵐山区・中央区・南区・緑区 羽生市・川越市・ふじみ野市 三芳町・富士見町・日高町 174,985部 第1または第2金曜日発行

ARIFT vol.1738 志木市・新座市 朝霞市・和光市 81,340部 第2または第3金曜日発行

ARIFT vol.1737 戸田市・川口市・豊市・さいたま市浦和区・南区 越谷区・緑区・中央区 81,340部 第2または第3金曜日発行

ARIFT vol.1737 さいたま市浦和区・岩槻区 大宮区・見沼区・北区 上尾市・蓮田市・鳩山町 159,820部 第1または第2金曜日発行

ARIFT vol.1737 越谷市・春日部市 草加市・吉川市 三郷市・八潮市 187,620部 第1または第2金曜日発行

東京都 都内発行媒体数 2誌 都内総発行部数 186,200部

ARIFT vol.1738 練馬区 51,470部 第2または第3金曜日発行

福井県 県内発行媒体数 1誌 県内総発行部数 33,928部

kirameki club vol.195 敦賀市・美浜町 33,928部 25日発行

山梨県 県内発行媒体数 4誌 県内総発行部数 174,000部

ParuPi vol.244 甲府市・甲斐市 岡谷市・昭和町 82,000部 25日発行

たまたま vol.244 南アルプス市 富士川町 21,000部 25日発行

ながないろ vol.133 韮崎市・北杜市 34,000部 20日発行

長野県 県内発行媒体数 1誌 県内総発行部数 81,000部

月刊ぶぶざ vol.393 諏訪市・茅野市 岡谷市・下諏訪町 原村・富士見町 81,000部 25日発行

岐阜県 県内発行媒体数 12誌 県内総発行部数 741,201部 世帯到達率 88.5%

SARUBO vol.342 高山市・飛騨市 下呂市・白川村 56,000部 28日発行

GUJO vol.189 郡上市 20,000部 20日発行

maika vol.216 中津川市・恵那市 44,600部 25日発行

らせる vol.190 土岐市・瑞浪市 36,610部 25日発行

おりべ vol.244 多治見市 44,970部 25日発行

Kanisan club vol.351 【かに版】【かに版】 関市・御美町 44,270部 【かも版】【かも版】 伊豆郡・東濃郡・下呂郡 坂祝町・川辺町・七宗町 白川町・富加町・東白川村 31,250部 75,520部 25日発行

ぎららくらぶ vol.214 関市・美濃市 42,777部 20日発行

20周年 たんと vol.241 各務原市 59,800部 20日発行

愛知県 県内発行媒体数 35誌 県内総発行部数 2,363,554部 世帯到達率 67.0%

名古屋市中区・東区 【中・東エリア】 34,000部 昭和区・千種区 【昭和・千種エリア】 92,475部 熱田区・瑞穂区 【熱田・瑞穂エリア】 58,725部 185,200部

名古屋市中村区 中村区 58,700部 西区 西区 54,565部

名古屋市中区 中区 59,700部 中川区 中川区 83,800部

名古屋市中区 中区 60,450部 南区 南区 52,600部

名古屋市中区 中区 63,000部 天白区 天白区 56,350部

守山フリモ vol.151 68,200部 緑区フリモ vol.145 83,200部

HANAMARU vol.2 豊橋市・豊川市 田原市・新城市 120,000部 最終金曜日発行

ぶらりん vol.95 豊田市 115,600部 未日発行

西尾フリモ vol.105 西尾市 41,300部 第3金曜日発行

アサヒセント vol.146 尾張旭市 瀬戸市 64,900部 第4金曜日発行

ひまわり vol.102 長久手市 日進市 東郷町 39,700部 第4金曜日発行

Sun-Go club vol.89 日進市 東郷町 37,950部 第4金曜日発行

KANARU club vol.82 みよし市 23,100部 第3金曜日発行

ゆいまる vol.98 豊明市 26,610部 第3金曜日発行

Cocon vol.114 刈谷市 60,000部 第3金曜日発行

ちる vol.83 知立市 28,700部 第3金曜日発行

三重県 県内発行媒体数 9誌 県内総発行部数 624,754部 世帯到達率 79.9%

ぽん vol.222 桑名市・いなべ市 東員町・木曽岬町 70,740部 28日発行

おのり vol.203 【北部版】 四日市市北部 朝日町・川越町 59,048部 【南部版】 四日市市南部 菟野町 64,990部 124,038部 28日発行

Belle vol.217 鈴鹿市・亀山市 84,800部 28日発行

リィガ vol.157 名張市・伊賀市 55,561部 28日発行

つびす vol.197 津市 104,229部 28日発行

はまはく vol.192 松阪市・多気町 明和町・大台町 73,405部 28日発行

イトラ vol.167 伊勢市・鳥羽市 玉城町・度会町 64,940部 28日発行

さみと vol.106 志摩市 20,700部 25日発行

からっと vol.135 尾鷲市・紀北町 熊野市・御浜町 紀宝町 26,341部 28日発行

滋賀県 県内発行媒体数 6誌 県内総発行部数 460,928部 世帯到達率 74.2%

botejako vol.208 長浜市・米原市 56,900部 25日発行

konki vol.233 彦根市・多賀町 甲良町・豊郷町 愛荘町 69,067部 25日発行

オウティ vol.163 【近江八幡版】 近江八幡市 竜王町 35,408部 【東近江版】 東近江市 40,110部 75,518部 25日発行

【北部版】 大津市北部・高島市 55,100部 【南部版】 大津市南部 64,860部 119,960部 25日発行

【草津版】 草津市 46,291部 【東栗東版】 守山市・野洲版 守山市・野洲市 44,993部 114,484部 25日発行

甲賀フリモ vol.66 甲賀市・湖南市 24,999部 25日発行

奈良県 県内発行媒体数 2誌 県内総発行部数 178,000部

かいろ vol.82 橿原市 43,000部 28日発行

鳥取県 県内発行媒体数 3誌 県内総発行部数 163,400部 世帯到達率 68.6%

つばさ vol.138 鳥取市 64,000部 第4日曜日発行

くらら vol.102 倉吉市・三朝町 湯梨浜町・北栄町 琴浦町 39,200部 第4日曜日発行

こはく vol.126 米子市・境港市・日吉津村・南郷町・伯耆町・鳥取県東条市 60,200部 第4日曜日発行

広島県 県内発行媒体数 1誌 県内総発行部数 41,000部

はっから vol.1 廿日市市 41,000部 20日発行

香川県 県内発行媒体数 1誌 県内総発行部数 69,000部

マルター vol.107 丸亀市・宇多津町 坂出市(一部)・多度津町(一部)・まんのう町(一部)・琴平町(一部)・善通寺市(一部) 69,000部 25日発行

高知県 県内発行媒体数 1誌 県内総発行部数 38,030部

こしと vol.101 南国市 香南市・香美市 38,030部 25日発行

福岡県 県内発行媒体数 3誌 県内総発行部数 166,700部

むなふ vol.146 宗像市・福津市 64,700部 20日発行

おるね vol.118 古賀市・新宮町 38,000部 20日発行

マイタウン vol.112 福岡市西区 64,000部 20日発行

佐賀県 県内発行媒体数 2誌 県内総発行部数 148,150部

Toss vol.111 鳥栖市・基山町 上峰町・みやき町 44,500部 25日発行

ぶぶざ vol.444 佐賀市 103,650部 月末発行

大分県 県内発行媒体数 1誌 県内総発行部数 50,000部

てくてくぶらさ vol.212 臼杵市・津久見市 佐伯市・大分市東部 50,000部 25日発行

宮崎県 県内発行媒体数 1誌 県内総発行部数 83,100部

Palms vol.394 宮崎市・高鍋町 西郷市・都城市 延岡市 83,100部 25日発行

沖縄県 県内発行媒体数 1誌 県内総発行部数 32,000部

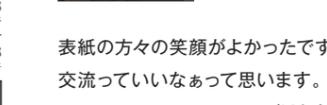
富吉ストーリー vol.54 宮古島市 32,000部 25日発行

情報誌見積サイト 「HAPPY MEDIA GUIDE」

まいねが vol.95 若出市・紀の川市 40,000部 20日発行

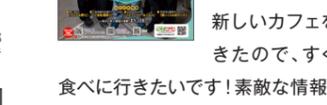
まいとん vol.1 橋本市・かつらぎ町 23,000部 20日発行

読者の声 「地域みっちゃく生活情報誌」に寄せられた読者からのお便りを紹介します。



小さい子どもがいるので、水遊びスポットの特集と習い事のページはとでも参考にになりました! (Fさん・30代)

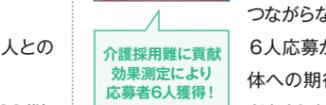
表紙の方々の笑顔がよかったです。人との交流っていいなあって思います。 (Kさん・30代)



マイホームを検討中なので情報がたくさん載ってて有難いです。 (Iさん・40代)

新しいカフェを発見できたので、すぐにも食べに行きたいです! 素敵な情報をありがとうございます。 (Hさん・20代)

掲載レスポンス 「地域みっちゃく生活情報誌」に掲載した広告の反響をご紹介します。



求人掲載で年間契約中の介護サービス事業所。掲載後の反響を見ながら定期的にメインコピーを変更し、効果測定を行っています。採用にはつながらなかったものの6人応募があったと、媒体への期待の声をいただきました。



年間掲載のカフェ&果物店。今年で創業100周年を迎え、そのキャンペーンページにつながるQRコードを掲載。高級果物が当選する内容だったため、発行直後から読み取り数が伸び、1,000件に迫る高反響となりました。

効果測定に貢献 効果測定により応募者6人獲得!

QR読み取り数 1,000件に迫る 驚異のリーチ力

HAPPY MEDIA 『ままここと®』 園児から家庭に直接届く子育て情報満載のフリーマガジン。【配布先】県内全域の幼稚園・保育園。【発行時期】年4回(1月・4月・7月・10月)。【設置先】産婦人科・小児科・児童館・図書館・ショッピングモール等。【仕様】冊子A5版 オールカラー。ゲスト講師、タレント選びからイベント企画立案、当日の運営までサポートするネットワークサービス。クーポンアプリ「フリモ」ダウンロード数 447,618件。フリーマガジンと連動して地元へアピール。ウェブへ繋ぐ! GoogleMAP連動で現在地からもお店を探せる!

※QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です

夏のスタミナチャージは地元グルメで

地域みっちゃく生活情報誌

読者の心を掴んだ肉グルメ企画

三重県志摩市で発行する『さみっとくらぶ』8月号では、夏祭りのシーズンに合わせて肉祭企画を実施しました。インパクトのある一枚写真と、地元の方言を取り入れたタイトルで、「おいそう」「食べたいなあ」と読者の興味をひけるように工夫しました。フォーマットを見て、掲載を即決するクライアントが現れたり、発行直後から「気になっていたお店に行ってきました」「掲載店舗に行ってみます」という読者の声が届いたり、大きな反響がありました。



特定のジャンルに特化したグルメ企画は、店舗数の関係で当地域では成立しにくいのが現状です。しかし、読者の皆さんにワクワクを届けたいという思いから、掲載時期や見せ方に工夫を凝らした結果、今回の成功につながりました。

今後も『さみっとくらぶ』を手にとった人が笑顔になるような誌面作りを心がけ、地域に密着した情報誌として愛されるよう努めてまいります。

(さみっとくらぶ編集室・中井)

子どもが主役の体験型イベントを開催

イベント

2,000人の笑顔が輝いた学びと出会いの1日

子どもたちに豊かな体験の場を提供する「ままこランド」。地元企業17社が出演し、モデル・寿司職人・ラジオパーソナリティー体験など、子どもが主役のワークショップを実施しました。



イベント独自の通貨を設け、子どもたちは楽しみながら企業ブースを巡り、集めた通貨を使って買い物体験ができます。この仕組みが功を奏し、どのブースにもぎわいを見せ、企業と地域住民の新たな接点を創出しました。

混雑を避けるため半分を事前予約制にしたところ、開始15分で400席が満席になり、キャンセル待ちは1,300人。当日は2,000人を超える来場があり、会場となったショッピングモールの昨年対比客数は107.7%、売上昨年対比は103%に上りました。

「ままこランド」は、企業にとっては社会貢献とブランディングを叶える場であり、子どもたちにとっては、参加無料・アクセス良好な会場で、さまざまな職業を体験できる貴重な機会です。今後もすべての人にメリットのあるイベントとして、子どもたちの成長を応援してまいります。

(高崎プリモ編集室・結城)

顧客ターゲティングで成果を最大化

ウェブ

ウェブ広告の課題を解決するDSP広告

ウェブ広告媒体が多様化するなか、「ディスプレイ広告の効果を感じられない」というクライアントの声をよく耳にします。これは、本当に届けたいユーザー層にリーチできていないことが原因かもしれません。

多くの人利用する媒体への広告掲載はセオリーですが、特定層へのピンポイントなリーチは難しいのが現状です。複数のアドネットワークを駆使する方法もありますが、費用と時間がかかります。

そこで、詳細なターゲティングと一括管理が可能なDSP広告の出番です。当社は長年、情報誌・チラシ・イベントなどを通じて輸入車ディーラーを支援してきましたが、ウェブ広告に関しては提案がなかなか実を結びませんでした。しかし、各店舗への定期的な提案とヒアリングを重ねた結果、今ではプジョー7店舗、FIAT・BMW3店舗でDSP広告をはじめとするウェブ広告運用を任せていただいています。

「数値・成果の見えるウェブ広告」をお求めの皆さんは、ぜひお気軽に営業担当まで問い合わせください。

(名古屋AP課・松原)



生き方のヒントが見つかるLife Story企画

地域みっちゃく生活情報誌

人生のさまざまなシーンに寄り添う情報を発信

人生100年時代を迎え、生き方が多様化する今、自分らしい生き方への関心が高まっています。『ふあみんぐくらぶ』8月号(三重県松阪市ほか)では、読者の皆さんが本当に求める「もの」や「こと」を見つけるお手伝いをしたいと考え、Life Story企画を実施しました。

人生をすくろくに見立てた表紙や巻頭特集のマナー講座と連動し、美容から終活まで、人生のさまざまなステージで役立つ店を幅広く紹介。単なる店舗情報に留まらず、読者の皆さんが自分の人生と重ね合わせながら、未来へのヒントを見つけられる内容を目指しました。

読者の皆さんからは、「大事なことが分かりやすくまとめられてよかった」「読み応えがあって勉強になりました」など、温かい言葉をたくさんいただきました。地域密着の情報誌だからこそ、読者の皆さんの生活圏に根ざしたリアルな情報を届けられることが私たちの強みです。これからも「今本当に必要な情報」をお届けできるよう、アンテナを張り巡らせてまいります。

(ふあみんぐくらぶ編集室・瀬戸)



VCTOPIC

『月刊エー・クラス』が秋田県を元気にします!

秋田県秋田市エリアで発行する『月刊エー・クラス』は、地域最大の発行部数を誇るフリーマガジンです。2009年の創刊以降、読者の皆さんが地域社会でより豊かに過ごせるよう、地域情報を発信しながら人々の輪を広げるお手伝いをしてきました。

弊社では、フリーマガジン発行のほか、地域のイベント企

画や販促物の作成なども行っています。この夏、秋田市で開催された東北三大祭りのひとつ「秋田竿燈まつり」では、地域の店舗で見せると特典が受けられるうちわを配布し、大変好評をいただきました。これからも地域の皆さんの役に立つサービスを提供しながら、一度地元を離れてしまった人が戻ってきたいと思う街づくりに力を入れていく方針です。



▲『月刊エー・クラス』8月号

CHUCO CLUB

第26回につぼんど真ん中祭り ファイナルコンテスト審査

日本のど真ん中、名古屋を舞台に繰り広げる日本最大級の踊りの祭典、につぼんど真ん中祭り(通称:どまつり)が開催。今年も大島齊社長がファイナルコンテストで審査員として採点にあたりました。

今年は当社情報誌発のコンテンツ「女子大小路の名探偵」の映画で、主演を務められた剛力彩芽さんがオープニングアクトとして登壇、審査員とプレゼンターを務めました。現在、連載中の「女子大小路の名探偵 新章」は、このどまつりを舞台に物語が展開しています。

当日は新章が来年3月に剛力さん主演で舞台化されることも発表され、会場は大盛り上がり。連載中の物語は、ウェブサイトにて過去分を含めてお読みいただけます。ぜひチェックして、舞台化を楽しみにお待ちください!

(広報・マーケティング担当 岡本)



こちらのサイトで小説の連載がお読みいただけます▶

クリック

レコ大史上、最高齢での新人賞獲得へ! 河村たかし名古屋市長の歌手デビューを オール名古屋体制で全力プロデュース

本プロジェクトには名古屋を盛り上げるため、名古屋に本社を構える企業がメンバーとして集結。エンタメ力の弱さから、「名古屋飛ばし」と揶揄されることのある名古屋のイメージを払拭するコンテンツとして、全国に発信していく計画です。

今回発表した楽曲「何をやってもしかられる」は作詞も河村氏が担当。サービス精神から行動したにも関わらず、それが空回りし、周りからしかられてしまう悲哀を歌った歌謡曲となっています。誰もが体験したことのある「良かれと思ってやったのに失敗した」という体験談を元にした共感できる歌詞と、キャッチーで耳に残るメロディーで、つい口ずさんでしまう1曲に仕上げました。楽曲は今年の秋に発売を予定しています。

(広報・マーケティング担当 岡本)



▲「なごやエンタメ祭り」で楽曲を発表。「目指すはレコード大賞新人賞」と意気込む河村氏

CHUCO GROUP CSR 当社では、地域社会への貢献に積極的に取り組んでいます

関西ほどでは、地域社会とのつながりを強化し、未来を担う子どもたちの健やかな成長を支援することで、地域全体の幸福度向上を目指しています。

その一環として、9月22日(日)に大阪府枚方市のニッパーク岡東中央にて、子育て世代応援イベント「まみたんフェスタ枚方〜2024 Autumn〜」を開催いたします。「体験・体感・学びを通じて子育てファミリーが1日楽しむ!!」をテーマに、ステージイベント、ワークショップ、体験ブースなど、多数のコンテンツを用意しています。地域の皆さんにとって、笑顔があふれる特別な1日となることを願っております。ぜひご家族皆様までお越しください!

関西ほどは、今後も地域社会と共に成長し、未来の世代を支援するための活動を続けてまいります。

(関西ほど・上地)



▲前回イベントは、2,500人を超える大盛況となりました

部署だより NO.128

FM事業部
『まいとん』編集室



▲『まいとん』編集室スタッフ

和歌山県では、今年の11月号で創刊8周年を迎える『まいなあが』を発行しています。長年姉妹誌創刊を目標に奮闘してまいりましたが、このたび県内2誌目となる『まいとん』がついに誕生いたしました。旧那賀郡を対象とする『まいなあが(my那賀)』に倣い、旧・伊都郡域の橋本市と現・伊都郡のかつらぎ町で発行する情報誌として、伊都の地名を盛り込んだ『まいとん(my伊都)』と名付けました。

発行エリアである橋本市は世界遺産高野山の麓に位置し、多くの観光客で賑わう地域です。大阪や奈良など都市部へのアクセスが良い反面、地元での消費は伸び悩んでいるという課題も抱えています。そのため、戸別ポストイン配布という強みを持つ『まいとん』には、地元企業や店舗から熱い期待が寄せられています。『まいとん』を通じて地域の魅力を発信し、地元での消費を促すことで、地域経済の活性化につながるよう、編集室一同全力で取り組んでまいります。

(まいとん編集室・榎尾)

編集後記

近年の中広は、エンタメ施策にチャレンジ中。謎解きイベントや情報誌での小説連載に始まり、書籍、オーディオブック、映画、そして今年は舞台上に歌謡曲と、広告業として培ってきたプロデュースやディレクション力を生かし、さまざまな分野の企画に参画しています。

河村たかし氏の「何をやってもしかられる」は、耳にされた方から癖になると好評です。政令指定都市の市長としては破格の年収を実現させた立役者でもある奥様とのクソツと笑えるエピソードや、ニュースになったあの事件、経済施策の成果の裏側にある哀愁漂う「あるある」が歌詞に散りばめられ、共感される方も多いはず。今回もまた、誰かからはしかられちゃう気もしますが…年末には名古屋栄、女子大小路のスナックあたりで熱唱している私がいるかもしれません。どうぞ期待。

(広報・マーケティング担当 岡本)



『地域みっちゃん生活情報誌』最高の訴求力で企業や行政の周知を支える表紙と巻頭特集の力でPR

『地域みっちゃん生活情報誌』は、広告を通して地域の読者に地域の情報を伝え、地域経済を循環・活性化させることを目的としています。読者に情報誌を隔々まで楽しく読んでもらうために、毎号、様々な企画を用意しますが、一番訴求力が高いコンテンツは表紙と巻頭特集であり、これらも企業や行政のPRに活用いただいています。

役割から知る表紙・巻頭特集の有効性

『地域みっちゃん生活情報誌』において、表紙・巻頭特集の訴求力が高くPR効果に優れた理由を論理的に考えてみましょう。まず、『地域みっちゃん生活情報誌』は、地域の読者に不可欠な生活情報を広告の力で伝えることで、読者の生活をより豊かにし、地域経済の活性化を目的として発行しているメディアです。これを実現するためには地域に住まう人々にくまなく情報誌を届ける必要があることから、自社で配布網を構築し、毎月、各家庭のポストに手配りで届けています。しかし各家庭に情報誌が届いて終わりではありません。読まれなければ目的を果たせないため、人々の興味を刺激して雑誌を読んでもらう工夫を凝らします。

表紙とは何でしょうか。表紙とは、人々の興味、関心、注目を雑誌に向け、読んでみようという「開かせる」のが役割です。役割を果たすための機能を担うのが各種タイトルやビジュアルであり、これらの機能を最大化させるために、季節性、話題性、親しみ、共感、驚きなどのエッセンスが必要になります。

次に、巻頭特集の役割を言語化してみま

しょう。巻頭特集とは、雑誌を開いた読者の心をつかむための目玉企画であり、読み進めてもらうための推進力です。巻頭連動企画を立てることでボリュームが増し、読み応えと満足度が向上するため、読み進めるための推進力も増加します。

当社の情報誌は多彩なコンテンツによって構成されていますが、表紙と巻頭特集はその役割を考えた場合、全体の効果を高めるキラーコンテンツでなければなりません。構造上、注目度が高いからこそ、訴求力も高く、最も強力なPR手段になり得ます。テレビ業界で言えばゴールデンタイムです。だからこそ、表紙・巻頭特集は地域へのPR不足に悩む企業や行政に対して、自信をもって案内できる最適解なのです。

表紙・巻頭特集PRでも読者ファーストの視点が肝要

『地域みっちゃん生活情報誌』が一番大切にしているのは読者目線です。読者にとって有益か、読者にとって面白いかという視点の欠如は、情報誌のファンを減らすことにつながり、結果、掲載社様へのレスポンスを減らす結果につながるからです。表紙・巻頭特集をPR手段として有料で案内する場合も同様で、読者目線を損なうことがあっては

なりません。「編集権」という言葉がありますが、これは雑誌の独立性を意味し、掲載する内容、見せ方を決定する権能を指します。通常、広告はフォーマットであれフリーであれ、当社の倫理綱領に則り、各種社内規定や、国が定めた法律、業界団体の決めたルールを遵守していれば、掲載内容や表現方法はクライアントの自由です。しかし表紙や巻頭特集の内容や見せ方は、例えPRであったとしても、読者目線を意識し、客観的に俯瞰した視点を持ち、面白く、読者に有益な内容でなければなりません。クライアントとは、編集室としての意見をしっかりと伝えたいうえで、互いに「読者目線」を軸としたすり合わせを行い、共同作業で内容や見せ方を組み立てなければなりません。

PR(Public Relations)の解釈は多数ありますが、端的に言えば公衆とのより良い関係づくりです。読者とクライアントの橋渡しを行い、関係構築に寄与し、双方を満足させる。これが『地域みっちゃん生活情報誌』の表紙・巻頭特集を使ったPRの前提です。表紙・巻頭特集PRを解禁してから、この前提にしっかり配慮した事例がいくつも生まれています。今後もより良い誌面作りを通して、地域企業や行政のPRを推進していければ幸いです。



『GifUTO』4月号

2018年、岐阜県岐阜市川部に開業した岐阜清流病院。その運営を担う社会医療法人 清光会の発足50周年に合わせ、同会の歴史や地域医療への思いを理事長と院長の対談で展開、熱い思いを読者に伝えました



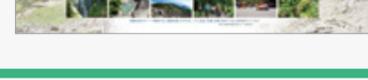
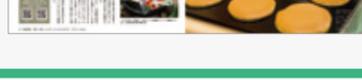
『湖南フリモ』6月号

関西や関東の百貨店を中心に outlets している和菓子店「京都 祇をんににぎ」。滋賀県守山市にある統括工場に直売店を併設したことから、地域住民へのPR手段として表紙・巻頭特集を活用いただきました



『SARUBOBO』8月号

岐阜県高山市とタイアップを行い、7月にオープンした岐阜県の施設「奥飛騨ビジターセンター」の紹介を含めた、飛騨山脈ジオパークの地元向けプロモーションを実施。地域愛の醸成とお出かけ情報を両立しています



会社概要	商号	株式会社 中広 (CHUCO CO., LTD.) 東証・名証 証券コード【2139】	
	創業	1978年	
	資本金	4億430万円	
	従業員	448名 グループ全体 685名 (2024年8月末現在)	
事業内容	フリーマガジン事業 セールスプロモーション事業 クロスメディア事業	イベント・セミナー事業 通信販売事業 VC事業(ボランティア・チェーン)	
理念	広告業を通して「地域社会への貢献」	(地方創生に!)	
社是	人が命・人が宝・人が財産 機会損失の排除	(社員が輝く組織に!) (モノ・トキ・ココロの無駄ゼロ)	
社訓	飲水不忘掘井人	(感謝の心で!)	
グループ会社	株式会社中広メディアソリューションズ 株式会社ケイ・クリエイト 株式会社ケイビーエス 株式会社 関西ばど	https://chuco-ms.co.jp http://www.k-create.co.jp http://www.post-kps.co.jp https://www.kansaipado.co.jp	

第47期 基本方針
スローガン Data Driven テーマ 全員経営

オフィシャル運営サイト	●中広企業サイト ●中広採用サイト ●中広VCサイト ●フリモ(WEB) ●講演会インフォ ●わくわく生活(楽天)他 ●販促blog ●HAPPY MEDIA GUIDE(情報誌見稿サイト) ●ハッピーメディア®児童虐待防止運動 ●日本地域メディアネットワーク(JLMN)
公式アカウント	●Facebook ●YouTube ●Instagram ●(旧)Twitter
加盟団体	●JLAA 一般社団法人日本地域広告会社協会



次世代育成支援対策推進法に基づく「くろみん」認定企業です

女性活躍推進法に基づく「えるぼし」認定企業です

女性が活躍しています!

営業拠点

<p>■ 本社 岐阜本社 岐阜市東興町27 名古屋本社 名古屋市中村区名駅1-1-1 24F</p> <p>■ FM・SP事業部 《北海道》 SORA編集部 滝川市東町6-1-11 TEL.0125-74-6189 旭川市東光6条6-4-7 TEL.0166-85-8158</p> <p>AO編集部 苫小牧市旭町3-7-6 TEL.0144-56-5704</p> <p>《宮城県》 とみすけ!編集部 仙台市泉区泉中央1-33-7 2F TEL.022-341-4809</p> <p>なうてい!編集部 名取市手倉田字諏訪532-1 1F西 TEL.022-797-8541</p> <p>さきっぺ!編集部 大崎市古川旭5-3-2 2F TEL.0229-25-8792</p> <p>《群馬県》 高崎フリモ 前橋フリモ編集部 高崎市新保町139-1 2F [高崎フリモ]TEL.027-353-8714 [前橋フリモ]TEL.027-353-8711</p> <p>伊勢崎フリモ 太田フリモ編集部 伊勢崎市茂呂町2-3522-6 TEL.0270-61-6117</p> <p>桐生みどりフリモ編集部 桐生市本町6-27-1 3F TEL.0277-47-7635</p> <p>《東京都》 東京SP部 港区新橋2-16-1 9F TEL.03-6910-2940</p>	<p>《福井県》 きらめきくらぶ編集部 敦賀市野神40-277-2 1F TEL.0770-24-2622</p> <p>《岐阜県》 GIFUTO編集部 岐阜市東興町27 4F TEL.058-247-2512</p> <p>SARUBOBO編集部 高山市下岡本町2967-2 TEL.0577-34-5579</p> <p>Wao!Club・mintoup はしまる編集部 大垣市加賀野4-1-13 [Wao!]TEL.0584-75-1960 [mintoup]TEL.0584-77-4088 [はしまる]TEL.0584-71-6226</p> <p>GUJOプラス編集部 郡上市八幡町小野91-1 TEL.0575-67-0655</p> <p>《宮城県》 たんどんくらぶ編集部 各務原市那加栄町14-1 TEL.058-380-6066</p> <p>きららくらぶ編集部 関市山王通1-6-3 TEL.0575-24-4334</p> <p>かにさんくらぶ編集部 可児市今渡字町1595-190 TEL.0574-25-7009</p> <p>おりべくらぶ編集部 多治見市太平町4-38 TEL.0572-21-2626</p> <p>らせるくらぶ編集部 土岐市泉西町1-4 3F TEL.0572-55-2033</p> <p>maika club編集部 中津川市中津川字上金1231-1 TEL.0573-62-2522</p> <p>官公庁営業部 岐阜市東興町27 4F TEL:058-247-2511</p> <p>岐阜SP部 岐阜市東興町27 4F TEL.058-247-2511</p> <p>《東京都》 東京SP部 港区新橋2-16-1 9F TEL.03-6910-2940</p>	<p>EC部 大垣市加賀野4-1-13 TEL:0584-74-0745</p> <p>《愛知県》 NAGOYA FURIMO 各編集部 [中村・中川・港区版] 名古屋市中川区柳森町107 2F TEL.052-355-6111</p> <p>[中央・西区・北区・名東・天白・南区版] 名古屋市中村区名駅1-1-1 24F TEL.052-433-1602</p> <p>緑区フリモ編集部 名古屋市緑区六田1-150 2F TEL.052-829-0270</p> <p>守山フリモ アサヒトセト・ひまわりくらぶ編集部 尾張旭市東本郷ヶ原町3-53 2F [守山フリモ]TEL.0561-42-5799 [アサヒトセト]TEL.0561-42-6981 [ひまわりくらぶ]TEL.0561-42-6971</p> <p>ゆいまるくらぶ・さんごくらぶ かなくらぶ編集部 愛知県東郷町北山4-1-6 [ゆいまるくらぶ]TEL.0561-42-4850 [さんごくらぶ]TEL.0561-42-4885 [かなくらぶ]TEL.0561-42-4855</p> <p>Cocon club・ちるるくらぶ 安城フリモ・北知多フリモ フリモから編集部 知多郡東浦町大字緒川字下沙田17-1 TEL.0562-85-1077</p> <p>リパル倶楽部編集部 大山市松本町2-29 TEL.0568-39-6111</p> <p>福岡SP部 岡崎フリモ編集部 岡崎市明大寺町字寺東9-1 5F TEL.0564-83-7121</p> <p>西尾フリモ・オレンジクラブ編集部 額田郡幸田町大字芦谷字毛倉62 1F TEL.0564-83-7763</p> <p>名古屋SP部 名古屋市中村区名駅1-1-1 24F TEL.052-571-2139</p> <p>《三重県》 ぼろんくらぶ編集部 桑名市殿町10 TEL.0594-25-9988</p>	<p>Belle club編集部 鈴鹿市神戸1-10-10 TEL.059-373-4400</p> <p>よっかいちai編集部 四日市市森の森1-5-16 8F TEL.059-325-7562</p> <p>つっぴ〜編集部 津市栄町1-840 5F TEL.059-213-7666</p> <p>リーククラブ編集部 名張市鴻之台3番町36-1 TEL.0595-41-0156</p> <p>ふあみんくらぶ編集部 松阪市東町596 3号棟 1-A TEL.0598-31-3623</p> <p>イセクラブ編集部 津市岩崎5-6-5 2F TEL.0596-63-8282</p> <p>からっと倶楽部編集部 尾鷲市坂地西町2-34 2F TEL.0597-37-4100</p> <p>さみっとくらぶ編集部 志摩市阿児町鷲方2850-126 D号室 TEL.0599-65-7201</p> <p>三重SP部 四日市市森の森1-5-16 8F TEL.059-325-7562</p> <p>《滋賀県》 ほてじゃ倶楽部編集部 長浜市宮町1161-7 2F TEL.0749-68-2577</p> <p>こんきくらぶ編集部 彦根市長曾根町9-22 1F TEL.0749-26-0555</p> <p>オウテック編集部 近江八幡市桜宮町289 3F TEL.0748-36-1148</p> <p>湖南フリモ・甲賀フリモ編集部 栗東市手原5-6-19 TEL.077-596-3335</p> <p>ひわごと編集部 関西SP部 大津市浜大津2-1-35 6F TEL.077-521-3911</p>	<p>《奈良県》 かしろくらぶ編集部 橿原市葛本町260-1 1F TEL.0744-48-0606</p> <p>《和歌山県》 まいななが・まいとん編集部 岩出市高瀬84-2 2F TEL.0736-67-7630</p> <p>《鳥取県》 つばさ編集部 鳥取市吉方温泉3-860 2F TEL.0857-30-6446</p> <p>くらくらぶ編集部 倉吉市山根540-1 4F TEL.0858-27-0510</p> <p>こはくくらぶ編集部 米子市西福原2-9-49 2F TEL.0859-21-5400</p> <p>《広島県》 はつカラ編集部 廿日市市新宮2-1-10 1F TEL.0829-30-6673</p> <p>《福岡県》 マイタウン西区版編集部 福岡市早良区西新5-1-30 3F TEL.092-833-5250</p> <p>むなふ・おるね編集部 宗像市土穴1-3-34 1F [むなふ]TEL.0940-72-6101 [おるね]TEL.0940-72-6102</p> <p>福岡SP部 山形市麻生町9-22 1F TEL.093-383-7581</p> <p>[福岡SP課] 福岡市早良区西新5-1-30 3F TEL.092-400-5955</p> <p>《佐賀県》 月刊TOSS編集部 鳥栖市東町1-1064-15 1F TEL.0942-50-9619</p> <p>■ VC事業部 岐阜市東興町27 4F TEL.058-247-2511</p>	<p>■ グループ戦略統括事業部 名古屋市中村区名駅1-1-1 24F TEL.052-562-2139</p> <p>■ 管理本部 経理部・総務人事部 岐阜市東興町27 2F TEL.058-240-4005 [購買流通課]TEL.058-246-0285</p> <p>■ グループ会社 株式会社関西ばど 本社 大阪市西区初本町1-10-24 5F TEL.06-6479-3113</p> <p>北大阪支社 豊原川市大判町10-10 1F TEL.072-827-0817</p> <p>東大阪営業部 東大阪市下小阪2-14-16 3F TEL.06-6729-8101</p> <p>株式会社中広メディアソリューションズ 横浜支局 横浜市中央区真砂町3-38 5F TEL.045-225-9267</p> <p>埼玉支局 さいたま市南区南浦和2-39-16 3F TEL.048-767-8238</p> <p>仙台支局 仙台市若林区新寺1-2-26 5F TEL.022-792-8101</p> <p>山形オフィス 山形市蔵訪町1-1-1 2F TEL.023-616-7390</p> <p>株式会社ケイ・クリエイト 本社 一宮市木曾川町里小牧東町125 TEL.0586-86-0608</p> <p>東尾張支社 岩倉市新柳町1-50 2F TEL.0587-96-8331</p> <p>株式会社ケイビーエス 岩倉市新柳町1-50 2F TEL.0587-96-8336</p>
--	---	--	--	--	--

※従業員数はグループ会社含む ●…地域みっちゃん生活情報誌®